

平成25年度
事業計画書

一般財団法人
調布市武者小路実篤記念館

一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館 平成25年度 事業計画書

＜はじめに＞

平成25年度は、平成4年に発足した調布市武者小路実篤記念館運営事業団が、4月1日より法人化され「一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館」として発足する1年目にあたります。

財団発足にあたり、次のとおり事業目標を設定するとともに、組織体制を定めて運営してまいります。

＜事業目標＞

1. 武者小路実篤の顕彰

年8回の展示事業と移動展、武者小路実篤および周辺資料の積極的な収集・整理・保存、調査研究を継続的に実施します。

2. 武者小路実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報発信基地）

実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村の研究施設」を目指します。

3. 次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大

子どもへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と郷土愛を育む取り組みを実施します。

4. 武者小路実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

武者小路実篤記念館と実篤公園を、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、公園を活用した新たな事業展開など、さらなる市民サービスの向上を図ります。

＜組織・運営体制＞

1. 安定した組織づくりと組織の透明性、信頼性を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2. 武者小路実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業を、継続性をもって実行します。

3. 武者小路実篤研究を継続してゆくために、学芸員を中心とした人材育成を促進します。

4. 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と奥行きを広げ、良質な市民サービスを提供します。

平成25年度は、一般財団法人設立との初年度に当たり、次のとおり事業活動を進めてまいります。

昭和60年に調布市武者小路実篤記念館(以下、実篤記念館)が開館以来、これまでの28年間にわたる武者小路実篤記念館の展示、資料収集、普及事業、情報提供、調査・研究などの成果を踏まえ、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与するため」という実篤記念館及び調布市武者小路実篤記念館運営事業団の設立理念を継承し、事業目標を達成するため、多彩な事業活動を展開してまいります。

展示・普及事業を中心に取り組むと共に、調布市の委託業務を中心にしつつ、施設管理の面についても実篤記念館に協力し、来館者等の声を参考にしながら、事業内容の創意工夫を重ね、より一層充実した運営を心掛けてまいります。

また、所蔵作品や資料という貴重な財産を後世に伝えるために、資料の整備・保存の作業を進め、収蔵品データベースの充実をはかるとともに、平成24年より2カ年にわたる情報提供システムのリニューアル作業に取り組み、稼働します。

ミュージアムグッズ販売事業では、来館者の要望に応えるグッズ内容の充実を図るとともに、自主財源を増やすことにより、自主事業のさらなる充実を進めてまいります。また、「ぐるっとパス2013」事業を市より受託し、この事業を通して実篤記念館事業を周知し、広報の充実に取り組みます。

財団の運営にあたっては、効率的かつ円滑な運営を目指して、組織や運営体制の強化を重点的に取り組んでまいります。また、実篤記念館の効率的な運営と市民サービスの維持、向上を目指し、事業と施設管理を一体的に行う指定管理制度の導入を検討してまいります。

＜展示事業＞

事業活動の中心となる「展示」事業については、これまで同様に関係機関、協力者等との協力をさらに深めながら、年2回の特別展と5回の企画展を開催し、いつでも新しい発見がある展示作りをめざします。

特別展では、春には＜「託された思い」～調布市武者小路実篤記念館 所蔵コレクションの歩み～＞を、秋には＜「画道精進」～椿貞雄と実篤～＞を開催いたします。また、企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介してゆくために多角的なテーマを設け、隔年で開催している調布市文化会館たづくりでの移動展を通して、実篤記念館の充実した収蔵品を紹介する展示を開催してまいります。

また、来館者に対して展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れながら、満足度の高い事業を提供すべく取り組んでゆきます。

＜普及事業＞

「普及」事業では、特別展パンフレット（有料）や子供向け解説シートの編集、講演会に加え、少人数を対象とした各種講座を開催し、武者小路実篤を核とした特色ある事業として幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、また市民の誇りとなるような事業展開をしてまいります。

来館者よりの要望が高い、展示解説の開催や団体解説の内容を充実させ、武者小路実篤への理解を深める機会として取り組んでまいります。

学校教育との連携では、市内小・中学校に実篤に関する資料・情報を提供するとともに、職場体験の受入れなどを進めてまいります。さらに、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、実篤や記念館に親しむ機会を増やします。事業を通して、子供たちが多様な体験をすることにより、幼い頃から芸術・文化に触れて感性を磨き、自身で考える力、豊かな心の育成に努めてまいります。

市民、地域との連携を計る協力ボランティアの活動は、現在、幅広い普及活動を展開する上で大きな力となっております。25年度は充実が望まれるボランティアガイドの養成講座を開講しメンバーの増員を計ってまいります。また活動をより充実させるための研修会の開催、組織や環境の整備を図り、ともに地域の教養向上のために積極的に活動を進めてまいります。

友の会事業は、記念館と来館者を結ぶものであるため、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行してまいります。

普及事業の運営方法は、事業の充実が望まれる講座については、引き続き参加者に講師料など応分の負担をしていただく方法を取り入れ、今後、利用状況やアンケート調査の結果などをもとに、さらに事業運営の検討を進めてまいります。

＜資料の収集・保存事業＞

「資料収集」では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料を収集しておりますが、財団は収集に関する各種情報を集め実篤記念館へ購入の提案をしてまいります。

「資料の整理・保存」事業では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへの入力作業を進め、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努め、収蔵品をより活用できるように積極的に取り組んでまいります。

さらに、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図るために、保存・記録作業、作品の修復作業、資料の複製制作を計画的に実施いたします。

また、25年度は資料燻蒸作業が実施されることから、作業に協力してまいります。

＜閲覧サービス・情報公開事業＞

「閲覧サービス」業務については、より多くの方に利用していただくように、開架図書を中心として展覧会や事業にあわせた図書紹介など、資料の充実と活用の促進を計り、さらに実篤関連情報に関するレファレンス業務を行い、一層のサービス向上に努めます。

「情報公開」事業については、25年12月の情報提供システム機器の全面的な入替に向け、リニューアル作業を24年度、25年度の2カ年にわたり実施します。

平成25年度はシステムの稼働に向け、機器の全面入替にともなう新たなプログラムの開発と移行、データの作成や整備により情報の充実を図るなどのリニューアル作業に取り組み、タッチパネルやタブレットPCなども導入し、多くの情報をより判りやすく手軽に利用できるようにします。

平成24年度に実施された「公式ホームページ」のリニューアルを受け、25年度はホームページ内容の充実、更新情報の迅速化機能の活用に取り組み、より多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録など周知するように

ホームページの運用をしてまいります。また、館報の編集、各方面への積極的な広報活動を行います。

＜調査・研究事業＞

「調査・研究」活動では、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館、美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報発信基地としての役割を担うべく、調査・研究活動を進めてまいります。

＜物品販売事業＞

ミュージアムグッズの物品販売事業では、自主財源を増やすとともに、引き続き会計の透明化に努め、その収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業の更なる充実をサポートしてまいります。

＜その他事業＞

博物館学芸員実習を受け入れるほか、所蔵作品・資料等の写真貸出や特別撮影に対応します。

＜事務事業＞

平成25年4月の法人化にあたり、組織や運営体制の強化、効率的な事務事業について重点的に取り組みます。

また、公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図り、事業内容や経営状況をホームページ等でわかりやすく公表するように努めてまいります。

市より公金収納業務を引き続き受託し、窓口業務の効率化、サービスの向上を計ります。

一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館
平成25年度 事業計画書 概要

1. 展示事業

- (1) 特別展 年2回
 - ・春 「託された思い」
～調布市武者小路実篤記念館 所蔵コレクションの歩み～
 - ・秋「画道精進」～椿貞雄と実篤～
- (2) 企画展 年5回
- (3) 資料館 展示コーナー 年7回展示替え
- (4) 移動展
 - ・テーマ/「実篤グッズ展」(仮)
 - ・会場/調布市文化会館たづくり1階展示室
※別紙 「展覧会日程」のとおり
- (5) アンケートの実施
 - ・展覧会及び館内施設に関する、来館者アンケートを実施し、今後の事業に取り入れてゆく。

2. 普及事業

- (1) 講演会、講座等の実施
 - ・武者小路実篤やその活動をテーマとした記念講演会を開催。
 - ・好評の読書講座、美術講座、自然観察会などを開催し、アンケート調査結果を参考に、受講者の開拓、事業内容の充実を図る。
 - ・充実が望まれる講座については、参加者が講師料など応分の負担をしていただく運営として実施する。
 - ・展示解説を展覧会ごとに開催。団体解説、ガイドツアーとあわせて利用者の要望に応える。
 - ・公民館、桐朋学園等の地域施設と連携した事業に取り組む。
 - ・朗読会を自主事業として開催する。
- (2) 学校教育との連携
 - ・子供向け解説シートの作成と配布
 - ・夏休み講座の充実、親子参加事業の開催
「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」などのキッズプログラムの充実
 - ・学校図書館への実篤関連資料や情報の提供
 - ・鑑賞教育、職場体験や訪問など学校事業への協力。
- (3) 生涯学習活動への対応
 - ・文学散歩などのサークル活動、団体利用者に対する展示解説などの普及活動を行う。
- (4) ボランティア活動の充実
 - ・充実が望まれるガイドツアーのボランティアガイドを養成する講座

を開催。

- ・協力ボランティアの活動を発展、充実させ、活動してゆくための様々な環境を整備する。
- ・ボランティアが中心となるガイドツアーや文学・歴史散歩などの普及事業を実施する。

(5) 印刷物の編集

- ・特別展パンフレットの編集

(6) 広報活動

- ・特別展ポスター、チラシ、展示案内の作成、配付
- ・企画展、講座等の開催ミニポスター、チラシの作成、配付
- ・「武者小路実篤記念館報」（年2回）の編集、配付
- ・実篤記念館ホームページの運用と情報の充実
事業情報を定期的に更新し、コンテンツや情報の充実をはかる。
- ・調布市市報等への情報提供
- ・報道機関への情報提供と各種取材への対応

(7) 友の会事業

- ・友の会ニュースの発行（年6回）
- ・会員の交流会（観梅会）の開催
* 地域連携事業として、桐朋学園等と協力したコンサートを実施

(8) ぐるっとパス事業

- ・東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会「ぐるっとパス2013」に参加し、展覧会や事業の広報、普及に努める。

(9) 他機関への事業協力等

- ・主として展示、調査研究活動を通して、他機関の事業活動に協力し、実篤、記念館事業の普及に努める。

3. 資料収集・保存事業

(1) 資料の収集

- ・書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真、映像音声資料、その他関連資料の収集のために情報を集め、調布市へ提案する。

(2) 資料の整理・保存

- ・収蔵された資料を整理し、良好な状態で保存する。
- ・収蔵資料の細かな点検を行い、状態を把握する。
- ・収蔵品や関連資料の記録撮影、写真パネル等を整備する。
- ・収蔵庫、展示室等の燻蒸作業に協力する。

(3) 記録映像

- ・実篤作品への理解を深めるために、文学作品1作をテーマとした鑑賞のための映像作品を制作する。
- ・映像視聴システム、収蔵品データベースで映像を提供するための整備作業を行う。

(4) 所蔵作品・資料等の修復、複製制作等

- ・所蔵品資料の適切な保存管理をはかるため、資料状態の把握に努めるとともに、計画的に修復作業を進める。あわせて、実篤関連の貴重資料の複製を制作し、展示事業に活用する。
- (5) 収蔵品データベースの充実
 - ・実篤記念館が収蔵する作品・資料、実篤に関する情報の入力作業を進め、収蔵品データの充実を図るとともに、展覧会、レファレンス業務、収蔵品管理等に活用する。引き続き、未整理収蔵資料のデータ化、収蔵品情報の充実に努める。
 - ・システムのリニューアルにともない、データの整備に取り組む。

4. 閲覧サービス、情報公開事業

- (1) 一般閲覧
 - ・閲覧室における、閲覧・レファレンス業務、開架図書管理。
 - ・展示室休室と閲覧室休室が重なる日には、閲覧室を開室し、サービスの向上に努める。
- (2) 特別閲覧
 - ・閉架図書・特別資料の閲覧・レファレンス業務
- (3) 情報提供システムの運用
 - ・文字・画像・映像情報等を収録した情報提供システム（収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ）を運用し、多岐にわたる情報の公開に努め、利用の促進を計る。
- (4) 情報提供システムのリニューアル作業
 - ・平成25年度の情報提供システムの全面的な機器入替にともない、24年度より2カ年にわたり、システム全体のリニューアル作業に取り組み、稼働する。

5. 調査・研究事業

「実篤、白樺、新しき村」の情報発信基地としての役割を担うために、特別展に関わる調査のほか、武者小路実篤、関連作家、収蔵品を中心に調査・研究及び情報の収集に取り組む。

また、実篤の作品発表に関する情報を集め、記録し、作品リストの充実を図る。

6. 物品販売事業

ミュージアムグッズの物品販売事業に取り組み、自主財源を増すとともに、これらの収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業をサポートする。

7. その他事業

- (1) 博物館学芸員実習の受け入れ
 - ・公共機関の役割を担う記念館において、博物館施設及び学芸員の役割に対する理解を深めるための機会を提供する。
実施期間：8月2日～8月9日 受け入れ人数：若干名
- (2) 写真貸出・特別撮影への対応
 - ・出版及び展覧会等への写真提供に関する貸出作業、資料等の撮影に対応する（有料）。
- (3) 広告料の確保
 - ・案内看板下部に広告をとることにより、自主財源の確保を図る。

8. 施設関係

- (1) 窓口業務、休憩施設の運営
 - ・実篤記念館の受付窓口業務
 - ・休憩コーナー（給茶設備）の管理運営
- (2) 実篤記念館施設管理への協力
 - ・実篤記念館施設の日常管理への協力
- (3) 実篤公園施設の活用
 - ・実篤公園の日常管理への協力
- (4) 旧実篤邸の保存
 - ・旧実篤邸公開、管理への協力

9. 事務事業

- (1) 財団化

平成25年4月の財団化にあたり、円滑な事業と運営ができるように、組織や運営体制の強化、効率的な事務事業について重点的に取り組む。
また、実篤記念館の効率的な運営と市民サービスの維持、向上を目指し、事業と施設管理を一体的に行う指定管理制度の導入を検討する。
- (2) 公金収納業務

入館料、市頒布品の販売及び料金の収納業務を市から受託し、実施する。
- (3) 会計事務ほか

公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図るとともに、事業内容や経営状況をホームページ等で公表する。

＜平成25年度 展覧会日程＞

(2013.4～2014.3)

◎春季展「ポスターに見る 実篤文学作品」

会期：3月9日（土）～4月14日（日）

◎春の特別展「託された思い」

～調布市武者小路実篤記念館 所蔵コレクションの歩み～

会期：4月27日（土）～6月2日（日）

※館内整備(燻蒸)および準備のための休館、展示替えのための展示室休室

◆全館休館 6月11日(火)～21日(金) (燻蒸)

◆展示室休室 6月4日(火)～30日(日)

*展示室休室中の閲覧室開室日

6月4日(火)～9日(日) / 6月22日(土)～6月30日(日)

*実篤公園は通常とおり、開園。

◎夏休み企画展「もっと知りたい 武者小路実篤」

会期： 7月2日（火）～ 9月1日（日）

(途中入替あり 前期7/31まで、後期：8/1から)

◎秋季展「新しき村 創立95年」

会期： 9月7日（土）～ 10月14日（祝・月）

◎秋の特別展「画道精進」～椿貞雄と実篤～

会期： 10月26日（土）～ 12月1日（日）

◎企画展「山と対峙する」～風景画～

会期：12月14日（土）～ 2014年1月19日（日）

◎企画展「真理先生」の世界

会期：1月25日（土）～ 3月2日（日）

◎春季展 実篤の眼「人間を描く」～愛蔵品と作品から～

会期：3月8日（土）～ 4月13日（日）

◆移動展 （於：調布市文化会館たづくり展示室）

*10月12日（土）～11月10日（日） 「実篤グッズ展」 （仮）

＜平成25年度 休館日＞

平成25年

4月1,8,15,22,30日

5月7,13,20,27日

6月3,10～21,24日

*6月11～21日は、館内整備のため休館。

7月1,8,16,22,29日

8月5,12,19,26日

9月2,9,17,24,30日

10月7,15,21,28日

11月5,11,18,25日

12月2,9,16,24, 29,30,31日

平成26年

1月1,2,3,6, 14,20,27日

2月3,10,17,24日

3月3,10,17,24,31日

＜平成25年度 展示室休室日＞

平成25年

4月16,17,18,19, 20,21, 23,24,25,26日

6月4～30日

9月3,4,5,6日

10月16,17,18,19,20, 22,23,24,25日

12月3,4,5,6,7,8, 10,11,12,13日

平成26年

1月21,22,23,24日

3月4,5,6,7日

＜平成25年度 閲覧室休室日＞

平成25年

4月4,11日

5月2,9,16,23,29,30日

6月11～21日

7月4,11,18,25,31日

8月1,8,15,22,28,29日

9月12,19,25,26日

10月3,10,30,31日

11月7,14,21,27,28日

12月19, 25,26日

平成26年

1月9,16,29,30日

2月6,13,20,26,27日

3月13,20,26,27日

平成25年度
一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館予算

一般会計

[総括表]

(収入) (千円)

科目	予算額	説 明
(1) 補助金	52,265	調布市補助金
(2) 委託料	24,887	調布市業務委託料
(3) 諸収入	150	ぐるっとパス返還金
(4) 繰越金	0	前年度繰越金
収入合計	77,302	

(支出) (千円)

科目	予算額	説 明
(1) 管理費	52,265	事務局運営費
(2) 事業費	24,887	受託事業費
(3) 返還金	150	ぐるっとパス返還金
支出合計	77,302	

平成25年度
一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館予算

(特別会計)

特別会計 [総括表]

(千円)

科目	予算額	説明
1. 収入の部	4,810	
(1) 自主事業収入	4,800	独自事業収入、物品販売事業収入ほか
(2) 預金利子	10	預金利子
(3) 繰越金	0	前年度繰越金
(4) 繰入金	0	
2. 支出の部	4,810	
(1) 自主事業費	4,760	
1 積立金	10	特別事業積立金、販売事業積立金金利
2 独自事業費	810	独自事業の講座、事業費
3 物品販売事業費	3,940	物品販売事業経費
(2) 予備費	50	